

作成者 特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会 事務局長 谷田寛和

確認者 JDBA 理事会一同

3月10の18時16分

井上氏より協会事務所に届いた男子日本代表選手一同の声明文への回答

各項目の文章は省略して、回答させていただきます。

なお、回答前に確認いたしますが「男子日本代表選手一同」ということで、お間違いのないのか、再度「2022年度の男子日本代表選手一同（今回総会での発言者に該当）全員にご確認お願いします。

では、声明にお答えさせていただきます。

・声明①、②

回答：①について、選手 MTG 議事録を確認後、日本代表選手の Zoom MTG 記録所見で通知動画録画済です。

また、①、②について所見記録にもあるように基本事項を提示させていただきましたがご理解はいただけましたでしょうか？『選手 MTG と日本代表選手の Zoom MTG の所見』を送付いたします

それらを踏まえてのご質問で間違いなかったですか？

・声明③

回答：『サインバスケットボール』は、母語が音声日本語、日本語対应手話、日本手話の人たち（デフ、聴者）がお互いに歩み寄れる、バスケットボールに特化した伝達手段をつくり、共生社会を目指しています。

そのことから、日本代表候補選手同士の分断を招くというよりも、より強い結束を生み出すものと JDBA は判断しております。

ビバリードについて、理事長は設立当初から須田氏であり、佐知氏はアンバサダーとして協力して頂いていました。ホームページにも事業計画書を載せていますので、そちらでも確認できると思います。

ビバリードでは、入会金のほかに、会費はマンスリー（月会費）とスポット（都度払い）のみで体験の方は、3回まで参加 OK（無料）としています。この会費は月4回の定期練習会が対象でそれに関する費用として体育館使用料などを支払い、定期練習会以外のイベント（外部講師を招いたクリニックやクリスマス会など）では、講師の謝礼・交通費実費・体育館使用料などを支払う為に、別途参加費を徴収しています。

以上のことから、ビバリードの独占的な利益供与にはつながらないと考えています。

声明④

回答：2022年7月14日に行われたサインバスケ説明会が終わり、選手全員が退出した後に話したいと合田氏から申し出があり、そのときに所属会社の体育館が使えるのでどうか？という話がありました。その時点では『もし使うときは、使用団体と使用人数などを連絡します』と話していたと思います。

2022年10月18日にも合田氏に『体育館を使うかどうかについて日本代表男女監督に確認します』とメールをしています。

また、使用団体と使用人数等記載の資料も頂いていません。

声明⑤、⑥、⑦、⑧

回答：まとめた回答になります。

⑤

助成金が打ち切られた要因は、前年度、前々年度、前々々年度の議事録を確認したところ、デフバスケ日本代表男女監督とスタッフへの委嘱自体が議事録になく、委嘱状自体も不備が多く無効である事、これまでの議事録にも不備が多く（特に署名押印抜け）管理団体に再提出を行いました。また、日本パラスポーツ協会からの助成金への会計収支報告にも不備があり、再三の注意を受けたにも関わらず前理事会は対応をしないままでしたので、現理事会が引き継いで2月に改善方策を取り急ぎ作成報告し、受領いただきました。

しかしながら、前理事会の対応すべきことを放置してきたため、JDBAの社会的信用を失墜してしまい、日本パラスポーツ協会からの2022年度の助成金が降りない見込みのため、その助成金を利用した男女日本代表選手・スタッフ一同の国際大会及び合宿が出来ないこと、選手・スタッフ負担が増大である事を鑑み、辞退した運びになります。

⑥、⑦

訴訟については、一般公開をする前に、お互いに弁護士を立て訴訟内容が正しいかの確認後、弁護士と訴訟を受けた者（6名）に公開しても良いか？の協議のもと総会の場にて説明することが適切と判断しました。

不当な扱いとありましたが、情報共有が徹底されていなかった事は、事実であり、理事会内でお互いに確認、協議を経て新体制をつくり運営することを合意しました。

それらの説明を総会の場で公開するので『隠蔽』の声明は誤りであると伝えさせていただきます。

⑧

篠原氏の除名と声明がありました。除名ではなく『会員停止』です。

理由は総会の場合でも説明いたしますが、前理事長を辞任した際に必要な登記変更届の押印提出協力をしない、今回の訴訟解決がまだであることを踏まえ、理事会にて、会員停止を行う事を議案決議し、当方の弁護士に確認し、本人に通達済みです。

これを行った説明を、先ほども申し上げたように、総会の場合にて説明します。

⑨

今回の声明につきましては、当方の弁護士に声明全文を通達し、対処させていただきます。

- 1) 総会前に提示する情報が、声明文にあるため
- 2) 元男子日本代表選手一同（2022年度）とあり、理事会から各個人に確認し、他選手全員を巻き込んでいるため
- 3) 誤った情報があり、名誉毀損にあたる恐れがあるため、弁護士に相談するため
- 4) 一部の声明文から『元の体制に戻す』ことから、遠回しに篠原氏が元日本代表選手を使い実権を取り戻そうと動きがあるように見受けたため
- 5) 総会前日に声明文を送付したことにより、業務に支障を与えたこと